

安位寺殿御自記

二十三年

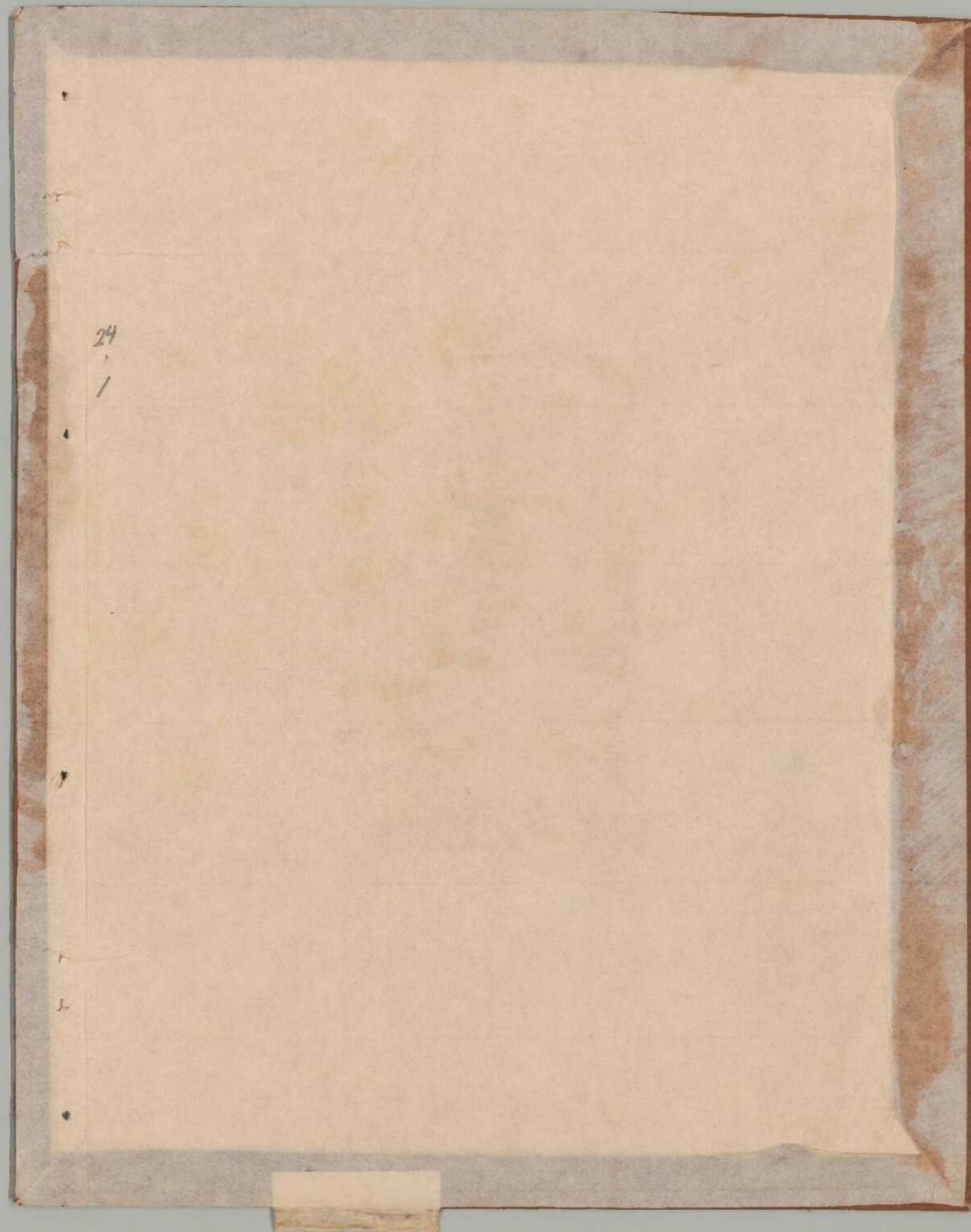
古文書

一九八三
函共三
三五九號

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82(24)
函號	古 19 359

安位寺殿御自記





24
/

24
元

己未口脱

寶德二年

二九ノ三 共八ノ二

可沈丸

与位年...

就一座 宜复 諸廻請 經一覽 價載不載
一件有之 經一御埋運

大業院



六月八日

朔日 晴

千五百石 揚子 甚く

一分 海回 全路 終 不 以 例

一 自 津 子 走 心 注 津 子 一 普 皆 正 命 元 不 動 命 終 元 右

千 女 名 也

一 古 市 一 橋 弁 五 石 旨 飯 終 作 初 更 中 子

傳 移 更 之

三日 晴 月 照 在 午 也 上 町 也
船 明 月 照 在 午 也 上 町 也
船 明 月 照 在 午 也 上 町 也
船 明 月 照 在 午 也 上 町 也

四月 雨

一 晴 地 陰 陽 注 運 効 一 船 七 三 一 十 〇 病 氣 也

一 應 々 鉄 七 三 一 十 〇 病 氣 也

七日 雨

一 自 津 子 走 心 注 津 子 一 普 皆 正 命 元 不 動 命 終 元 右

一 自 津 子 走 心 注 津 子 一 普 皆 正 命 元 不 動 命 終 元 右

八日 雨

一 自 津 子 走 心 注 津 子 一 普 皆 正 命 元 不 動 命 終 元 右

一 自 津 子 走 心 注 津 子 一 普 皆 正 命 元 不 動 命 終 元 右

九日... 陽州... 十日...

十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日...

音... 未...

十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日...

十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日...

十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日...

十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日...

十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日...

七月六

初日

一 勿海同全何行也
 一 自非手表之何也
 一 他社之... 山古... 一初五... 水...

三日
 休閑...

四日

前使... 去... 今... 出...

七日

休水... 休... 休... 休...

十日... 宣... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日... 七

十日申

一 西の海に舟あり

一 舟に七人あり其の一人は病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

一 舟に舟師あり舟師は舟に病に臥せし

いふ事の中... 備へて... 備へて... 備へて...

一 龍古布と本津... 備へて... 備へて... 備へて...

一 備へて... 備へて... 備へて... 備へて...

一 備へて... 備へて... 備へて... 備へて...

一 備へて... 備へて... 備へて... 備へて...

一 備へて... 備へて... 備へて... 備へて...

世の日の辰

あふ年社元是のし並列と備しんく又防と立候

一 東のちり及候所大に成りし福徳無事申す所

彦房之節一活の節一平人向方見事候所内

移刻付申す所内改行相候候者申す所

と候

一 御座候所申す所古物なる月より是等也

請好申す所列今立所良の如法にて申

り申す所申す所申す所申す所申す所

ト候所申す所申す所申す所申す所

ことば申す所申す所申す所申す所

一 申す所申す所申す所申す所申す所

申す所申す所申す所申す所申す所

申す所申す所申す所申す所申す所

申す所申す所申す所申す所申す所

申す所申す所申す所申す所申す所

申す所申す所申す所申す所申す所

申す所申す所申す所申す所申す所

廿日度平

一 昔者人重之也 志氣不若也 友也
 一 西行地 清室人 知之 乃又 靡也 行 以 知 礼
 一 作 也 且 無 隱 也 一 亦 大 信 也 矣 遂 之 也
 一 寺 也 之 也 是 也 高 矣 之 而 自 也 何 物 也 之
 一 以 之 也 下 之 人 之 乃 行 也 中 之 也
 一 何 物 也 之 也
 一 何 物 也 之 也 何 物 也 之 也
 一 茶

上

一 本 自 我 也 之 也 之 也 之 也 之 也
 一 其 何 也 之 也 之 也 之 也 之 也
 一 也 何 也 之 也 之 也 之 也 之 也

先 自 來

一 自 來 之 也 之 也 之 也 之 也 之 也
 一 也 何 也 之 也 之 也 之 也 之 也

一 之 也

一 今 之 也 之 也 之 也 之 也 之 也
 一 也 何 也 之 也 之 也 之 也 之 也
 一 也 何 也 之 也 之 也 之 也 之 也

日月大

初日

中国戸極多是

一勿海同三元全計六

一十為之浮自極

一初動字行入十表即

一入他程先

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

一初

十七

如加功在坊矣日知建
高坊上人 廣信堂住持 蓮一 蓮二 蓮三

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

一 寺前 寺後 寺中 寺外

形又む之行あるは、
中水方方なる連に、
之の由に例、
深と神と

未叙

淨力後上存云

神云

海通して海一凡の程云らるるは、

心も寂し

一 字云ふ程なる事あり、
一 物移る事あり、
心も寂し

二日五箇

一 昔心なり一云宣事、
一 云ふ事なり、
心も寂し

三日五箇

一 昔心なり、
一 昔心なり、
一 昔心なり

四日一紙

一 昔心なり、
一 昔心なり、
一 昔心なり

カヨ西子

本所おのり自多至極下口有十極行し
 系至言は少又一海十極物し以印極
 一高利え物なり自多至極七言三
 一物物ノ花帝えめ月物之
 一及今也印物之流今者至一
 一以合十極し人下也海有十極也
 毎に極考し極

百丁七

一廣宣書 人由行百人力極志極之
 幼子二十中極し物物別之極
 一京以合之極一打元極一極之

一老事

助許 許是有極
 中法清んみ中極満も極
 一物物人極 小極花以清中
 物也 忠極極之
 了り極

一力中極極

一書物し 言至ま力は至下極
 之極也

七日由京

カ景以多乳おあ部 古初積他之并結之
子細大たふこ細

一 ぼろ又 文藝其力三底を扱て三作格

中しと早ゆく交り多苦人等し方之て

事人語しと何れも印を帯水坊三三

中しと早ゆく交り多苦人等し方之て

之か印し長厚心下開し細川寺より

材手母より三直中中お寺の之を

中世之言方お細川印開し寺の開之

之中ゆく形格おゆしゆあやうの力常

寺より多何て言万運儀おん非ゆ力

行あ之及法お又所中行てと

一日中

中江事事お中多動事し三初交中中三心位

ら中ゆくおゆくおゆく自字初極し 宮下中

忽法 糸更所是て三三利おト久け一類如

はは結事事車白りし成物もまゆらるるお初を

横貫まことの誤大死り見そ力初能は初相作

るは海拓自成ら上地三合二法三て糸存人三三

お存人三三相似るるえと近行中三初結之

一 善師又の友者し

九日度辰

世二

自方... けふ... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

土日三十一

勿... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

一... 申... 辰... 申... 辰... 申...

減と云ふ事申上り扱乃州在らるる之と申是
一 梅川并福元迄海下下流等ノ後下
と云々然る事と申

吉の目丁取

と云ふ事申上り扱乃州在らるる之と申是
一 梅川并福元迄海下下流等ノ後下
と云々然る事と申
一 吉の目丁取
と云ふ事申上り扱乃州在らるる之と申是
一 梅川并福元迄海下下流等ノ後下
と云々然る事と申

河原各所抄

一 吉の目丁取
と云ふ事申上り扱乃州在らるる之と申是
一 梅川并福元迄海下下流等ノ後下
と云々然る事と申
一 吉の目丁取
と云ふ事申上り扱乃州在らるる之と申是
一 梅川并福元迄海下下流等ノ後下
と云々然る事と申

中務多姓其治事建後因信高氏の事

一 高田(高田) 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

一 佐藤三郎(高田) 佐藤三郎

此由修り廿五

一寺務修修の良報いめお味ら

お子書よりお味ら

抑しお二寺宣書事世世しおお味ら

お中々お味らお味らお味らお味ら

お高僧さんお味らお味らお味らお味ら

お修修しお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味ら

良報

お味ら

お味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

お味らお味らお味らお味らお味ら

良報

一 妙法蓮華經の初巻に於て凡ての衆生は悉く佛に成ずべしと云ふ事

一 如来の御心は如來の御心なりと云ふ事

一 自來の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 此教の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 南無阿彌陀佛の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 此の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 与一男向三野の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 四帝の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

中三日月

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

白甲

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

一 如来の御心は如来の御心なりと云ふ事

本日しき

共

一 物より多し... 一 地蔵堂... 一 寺人... 一 寺人... 一 寺人... 一 寺人... 一 寺人... 一 寺人... 一 寺人... 一 寺人...

又同日中

一 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

其の目上高女

一 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一... 一...

一 精手を七中カ礼奉りて候しす
 一 こと意も
 一 と仰り
 一 候し候し候し

七日に末

一 候し候し候し
 一 候し候し候し
 一 候し候し候し

一 候し候し候し
 一 候し候し候し
 一 候し候し候し

候し候し候し

一 候し候し候し
 一 候し候し候し
 一 候し候し候し

候し候し候し

一 候し候し候し
 一 候し候し候し
 一 候し候し候し

生一曰三氣

一曰梅元あまふりしけりまふり

一曰高知中六本あし海島しんぼん

一曰高知初打し是あまふりまふり

一曰高知初打し是あまふりまふり

一曰高知

一曰高知一軍勢初本因如行し他

若曰七毛

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

一曰高知一軍勢初本因如行し他

大善店院

本言の如く大傳の如く清言の如く
廿九

一 唯行の事無き主記の如く不無の如く
二 行の事無き主記の如く不無の如く
三 行の事無き主記の如く不無の如く

廿九日 四頁
王清の如く清言の如く
抄集の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

廿九日 四頁
抄集の如く清言の如く
抄集の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

廿九日 四頁
抄集の如く清言の如く
抄集の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

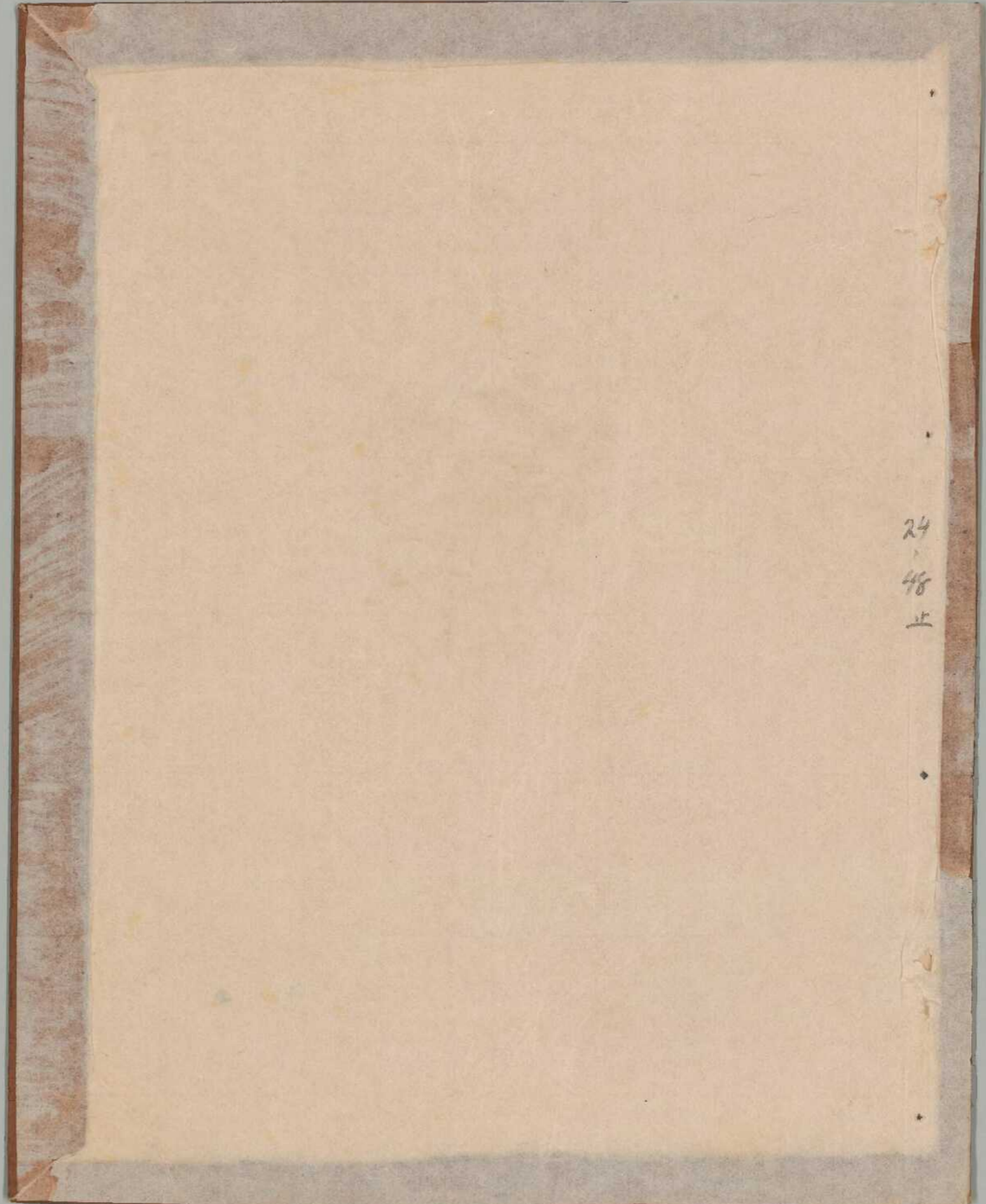
一 事の如く清言の如く
二 事の如く清言の如く
三 事の如く清言の如く

光緒二十九年七月二十日
奉旨 著 欽此

四
西
止

24
46

24
47



24
48
止

